

米欧戦車供与、ロシア報復か

ウクライナ各地にミサイル



ウクライナのキーウで26日、ロケット攻撃を受け地下鉄構内に避難した市民ら=AP

ウクライナ軍は二十六日、ロシア軍が同日早朝からウクライナ各地に向けて三十発以上のミサイルを発射したと発表した。複数のミサイルが着弾したもようで首都キーウ（キエフ）では一人が死亡、二人が負傷したとクリチコ市長が明らかにした。二十五日に米独立政府が発表したウクライナへの戦車供与に対するロシアの報復攻撃ともみられる。=13面参照

キーウ 1人死亡

ロシア軍の戦闘機「グリーン」が飛び立ったとの情報もある。

ウクライナのゼレンスキー大統領は二十六日に報じられた。

ウクライナ軍によるヒンタニュード「ロシアがウクライナを去れば戦争は終わる」と改めて軍の撤退を要求。ブーチン大統領との交渉の可能性については、「侵攻後、ブーチンは私にとって何者でもない。会うことも話すことも興味がない」と発言した。

ロシアにはウクライナが米国をミサイルで攻撃。南部オデッサ州ではエネルギー供給施設が破壊された。現場マティアス・ゼレンスキー氏は参戦に

ロシア軍は北極圏の都市ムルマンスクから長距離戦略爆撃機「ボラフ95」を六機離陸させ、キーウや西部ビンニツィア州をミサイルで攻撃。南部オデッサ州ではエネルギー供給施設が破壊された。現場マティアス・ゼレンスキー氏は参戦に

攻撃の直前に、イラン製のミサイル自爆型無人機（ドローン）による攻撃もあり、ウクライナ軍が二十四機を撃墜したと発表した。

ロシアにはウクライナが米国をミサイルで攻撃。南部オデッサ州ではエネルギー供給施設が破壊された。現場マティアス・ゼレンスキー氏は参戦に

向けた首脳会談を呼びかけたが、ロシア側は「時期尚早」（ペベコフ大統領報道官）と拒否してきた。

ウクライナでは「サイル」が飛んでいたとの情報もある。